



「重症薬疹の発症に関連する因子の解析研究」へのご協力依頼

重症薬疹患者の主治医の先生へ

拝啓、時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

スティーヴンス・ジョンソン症候群 (SJS) / 皮膚粘膜眼症候群及び中毒性表皮壊死融解症 (TEN) / ライエル症候群は重篤な副作用で、重い後遺症が残ることがあるために、なによりもその発症を回避することが望まれております。そのためには、SJS/TENを発症しやすい体質と関連する因子を検出する方法を開発することが必要と考えます。

重篤な副作用を発症しやすい体質と関連する因子として、近年、遺伝子上の変異（遺伝子マーカー）が注目されています。SJS/TENに関連する遺伝子マーカーに関する最新の研究成果によって、HLA型がその発症と強い関連（オッズ比～2500）があること、原因薬物あるいは民族によって関連するHLA型が異なる可能性があることなどが分かってきました。これらのことは、日本人のSJS/TENと関連する遺伝子マーカーを探索するためには、原因薬物ごとに日本人を対象にした研究が必要であることを示しております。

そこで、私ども国立医薬品食品衛生研究所では、厚生労働省の事業として、日本人患者を対象にしてSJS/TENと関連する遺伝子マーカーを探索する研究を始めました。この研究においては、SJS/TENを発症した患者から血液を提供していただき、血液より抽出したDNAを解析します。有用な成果を引き出すためには、十分な症例数を集積する必要があり、SJS/TENの発症率が非常に低いことを考慮すると、SJS/TENに罹患された患者にはできるだけ研究にご協力いただけますよう、お願いする次第です。

本研究へご協力いただくための方法を別添にお示しました。本研究へご協力頂ける場合はもとより、少しでもご関心がおありの場合には、弊所の連絡先へ直接、もしくは製薬企業の医薬情報担当者を通じてご連絡下さい。研究について詳細な説明を申し上げるために、後日、私どもの方から先生へご連絡をさせていただきます。

SJS/TEN予防の重要性を鑑みて、何卒ご高配の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

国立医薬品食品衛生研究所  
医薬安全科学部部长 齊藤 公亮  
医薬安全科学部主任研究官 塚越 絵里

※ 本研究では令和8年4月より謝金のご用意がありませんが、それをご承知の上でご検討いただければ幸いです。